



くまがわ



9月末の生駒高原です。一面、オレンジ色の秋桜が絨毯のようでした。
隣で、ピンク、紫、赤、白、黄色の秋桜のつぼみが膨らんで、もう咲いていい？って、
待ちわびているようでした。

田上三代子

Contents

2P●WIGS FOR KIDS

3P●防災訓練

4P●イベント紹介

- 「大盛りあがり!!室内レクリエーション大会!」
- 氷柱で涼を感じる納涼祭

5P●イベント紹介

- 秋晴れの下、恒例のふれあい祭り開催
- 「あいの会」とは

6P●第56回熊本県

精神保健福祉大会に参加して

●平成30年度熊本アルコール関連問題学会

7P●職場体験記

●フォトギャラリー

理念

地域社会に信頼される
精神科医療をめざし、患者様に安全で安心される
質の高いあたたかさと癒しの医療を提供します。

患者様の 権利と義務

- 1.個人として、その人格を尊重される権利
- 2.自分の受けている治療について知る権利
- 3.良質の医療を受け、選べる権利
- 4.公平で差別されない医療及び対応を受ける権利
- 5.安心、安全な環境で治療を受ける権利
- 6.正確な情報を提供するとともに、疾病や医療を十分理解するように努力する義務
- 7.医療に積極的に取り組む義務
- 8.快適な医療環境づくりに努力する義務

基本 方針

- 1.満足していただける医療を行います。
- 2.快適な院内環境に努めます。
- 3.専門知識の向上に努めます。

■ WIGS FOR KIDS

川畠 久美子

最近、タレントがSNS上で「ヘアドネーションに参加しました」と、長い髪を突然ショートカットにしているのを見かけるようになりました。ヘアドネーション hair donation とは、小児がん、無毛症、不慮の事故など様々な理由で髪の毛を失った子供たちにメディカル・ウィッグを提供するため、髪の毛を寄贈 donate するボランティアのことですが、運営するNPO団体による社会への周知活動によりメディアで紹介される機会が増え、この存在を知る人も増えました。海外では、以前から WIGS FOR KIDS という団体が活動しています。私も、偶々髪が伸びて、切ろうと思っていた矢先、このヘアドネーションの存在を知り、どうせ切るならと参加を決めました。さて、参加すると決めたら、その方法は、とネットで検索してみると、ヘアドネーションを運営するNPOが国内にも複数存在しています。HPを覗いてみると、団体の活動内容が紹介され、寄贈された髪の毛がどのような工程を経てウィッグに作られるのか詳細に紹介している団体もあります。また寄贈することに対し受領証などを発行する団体、しない団体があり、それぞれ考え方が異なります。1円でも多くウィッグ作成の資金にしたいという理由で発行しない団体もあり、一方、認定証を発行する団体もありました。お子さんが寄贈される場合など、認定証はよい記念になるかもしれません。いずれも、寄贈を考える場合は、HPなどで、各団体の運営の趣旨を確認されることをお薦めします。

寄贈の方法を探す中で、「髪を失った子供たちは、ロングヘアへのあこがれが強いので、より長い髪を頂けるとありがたい」と聞き、それではと頑張れるだけ伸ばして、ついに先日、活動に協賛する美容室に行き、髪を切ってもらいました。切った髪はそのまま美容室がまとめて

ヘアドネーションの団体に送ってくれました。自分で郵送する方法もありますが、最近は、それぞれの団体に協賛美容室として登録し、ドネーション用のカットと送付をしてくれる美容院も増えているようです。私の場合40cmほど伸ばした髪でしたが、特に未練もなく、とにかく自分の髪の手入れが格段に楽になって、本当にさっぱり！あの髪はどうなったかな、とたまに思い出しますが、どこかで、辛い経験をしている子供が、少しだけでも喜んでくれればいいな、と思います。

このような活動も社会での認知度が上がれば、お約束のように悪事を働く集団はでてきます。このヘアドネーションも、SNS上で、すでに偽物の団体が発生しているそうで、注意が必要です。

私自身は、今回、偶々参加をしてみましたが、ほかの方に積極的に勧める考えはありません。性能の良い人工毛もあることから、人毛の寄付に異議を唱える意見もあります。ご参加を検討される方は、十分情報を集めた上で、ご自分自身でよく考えて決めてることをお勧めします。

最後に、さすがに髪を40cm切ると、会う人ごとに驚かれました。人間って、びっくりすると、きれいな二度見、三度見をするものですね。



防災訓練

1病棟 本村 優子

平成30年7月に西日本を中心とする豪雨災害で堤防が決壊し甚大な浸水被害をもたらした災害が発生したことを受け、当院において災害（水害）訓練を行いました。

想定は以下のとおりです。

「9月9日16時人吉地方で1時間に200ミリを超える豪雨が前日から降り続き、大雨洪水警報発令あり、球磨川・前川・南川の警戒水位を超えるような勢いがあり、河川の氾濫や堤防の決壊に注意するようにニュースあります。」

16時30分に大雨による堤防の決壊の恐れあり。危険度レベルが注意2から警戒レベル3に引き上げられ、地域住民に避難勧告が発令された。テレビや町内放送などの情報から早めの避難が必要ではないかと看護部長より院長へ相談あり。

院長より5病棟1階の患者様を2階へ移動するようにと指示あり。」

という想定で訓練開始となりました。

災害用のマットや車椅子の患者様役のスタッフを安全に配慮しながら誘導を行ないました。

宮本理事長より「堤防が決壊した場合は3mの水位がある可能性があり、患者様を2階へ誘導する必要があります。想定外の災害においては、まず我が身の安全、家においては家族の安全の確保を確保しないと患者様の安全確保には動けません。患者様の安全確保のために、その時に出来る事を実行しできる事は全て行なうことが基本だと思います。」という言葉がありました。

備蓄食や電子カルテのサーバー・酸素ボンベの保管などについても議論する機会となりました。

今回は宮田看護部長より八代市内の防災マップ等のポスター説明や栄養科より備蓄食の説明・試食会、病院に設置されている防災グッズの内容の展示などありました。

誰が、いつ、どのような災害に遭うかわかりません。常に危機意識をもってリスク管理の視点で観察・行動をすることが必要です。有事の際には迅速且つ適切な行動ができるよう繰り返し訓練が必要だと改めて感じました。今後も必要に応じて、当院の防災マニュアルを見直しながら、防災訓練を積み重ねていきます。



イベント紹介

「大盛りあがり!!室内レクリエーション大会!」

蒸し暑い日が続く中、毎年恒例となった室内レクリエーション大会が行われました。

今年の室内レクリエーション大会の競技種目は前年度と同様、トランプ・花札・かるた・将棋・麻雀の5種目でした。

今年も花札への参加者が多く、真剣な表情で札を取る姿、時には皆さん一緒に声を上げ、喜んでいる姿を見られたりと楽しく行うことができました。また、参加されている競技の合間に他の競技を観戦したり、空いている時間に一緒に対戦したりと他のメンバーと和やかに交流を楽しむ様子も見られました。

今年も麻雀の参加者は少なかったのですが、



平成30年7月10日 3病棟 松本 稜平
他のメンバーの観戦や声援、対戦方法を工夫するなどして楽しく行うことができました。

将棋では昨年に引き続き、白熱した勝負が繰り広げられ、前年度に参加できなかった患者様も今年は参加して頂くことができました。真剣な表情で駒を打つ姿が印象的でした。

今回、入賞できた方も、惜しくも入賞できなかつた方も、来年の参加をお待ちしております。参加できなかつた方も、来年はぜひ参加して頂きたいと思っております。

来年の室内レクリエーション大会が、今から待ち遠しいです。



氷柱で涼を感じる納涼祭

今年は猛暑日での開催となりましたが、体調を崩すことなく実施する事ができました。暑い会場内に「氷柱」を設置し、ひんやりとした雰囲気で会場は大盛り上がり。スタッフバンド「ハリネズミ」、特別ゲスト「すずきグループ」のみなさまによる楽器演奏。盛り上がった会場から



平成30年8月7日 作業療法科 岡部 大輝
は「アンコール、アンコール」との声も聞かれました。また露店においても、焼きそば、揚げたこ、かき氷、コロッケ、メンチカツと充実していました。最後は参加者全員で輪になり「植柳盆踊り」と「八代音頭」を踊りました。今年も楽しい納涼祭でした。



■ イベント紹介

● 秋晴れの下、恒例のふれあい祭り開催

秋晴れのこの日、第20回ふれあい祭りを開催することができました。

肌寒い朝でしたが大勢の地域の方々やご家族の方々にお越し頂き素晴らしい交流の場となりました。

今回はやすらぎ保育園太鼓演奏・麦島婦人会による舞踊・アコースティックバンド「SORA」の演奏・華紅羅の演舞・八代工業高校吹奏楽部の演奏など多彩な内容で祭りを盛り上げていただきました。観覧された患者様、お客様からは演奏や踊りに笑顔と拍手が送られ、秋の楽しい時を過ごすことができました。



■ 「あいの会」とは

「あいの会」とは当事者様のご家族様に対する心理教育を行う会です。この会は平成8年から始まり今年で22年目を迎えます。

家族心理教育は当事者様の病気について理解を深め、病気と上手く付き合っていくための対処法を学びます。

疾病と治療の理解、障害と対処の理解、リハビリテーション、社会資源の利用法、話し合いと体験談などがあります。

あいの会に参加される対象は退院が予定されている入院患者様のご家族様、デイケア通所者のご家族様、心理教育が必要とされる通院中、入院中の患者様のご家族様です。

当院では、医師、薬剤師、精神保健福祉士、作業療法士、心理士、管理栄養士など多職種により年間のプログラムを組み立てており、様々な分野の話を聞くことができます。

当院のあいの会には毎回、10数名のご家族様が参加され、ご家族様同士での情報交換や外来、訪問看護の看護師、病棟看護師との交流を行っています。

参加されているご家族様からは、「病気を理解

平成30年10月13日 1病棟 徳永 由美

お楽しみ抽選会では子供も大人も豪華賞品が並ぶ中、番号が呼ばれる度に大きな歓声が上がり手に汗握る白熱した時間となりました。

今回、ふれあい祭りを開催するに当たって協力頂いた企業各社、お越し頂いた沢山の皆様のおかげをもちまして大盛況のうちに終えることが出来有難うございました。

八代更生病院のふれあい祭りは来年も回数を重ねます。更に地域の皆様との交流を深めていきたいと考えております。来年のふれあい祭りにもご近所の皆様お誘いの上ご来場をお待ちしております。

デイケア 山下 あけみ

して一緒に治療に取り組みたい」などの前向きなお言葉や、「対処の仕方で悩んでいる事に良いアドバイスをもらえる」「この会に来るのが楽しみ」「あいの会は絶対に必要です」などの意見が聞かれます。

長くは10年に渡り継続して参加されておられるご家族様もあり、あいの会がご家族様にとって重要な役割を果たしていると感じます。

ご家族様が病気を理解し対処法が変化していくことで、「頻繁に再入院を繰り返しておられた患者様が入院をしなくなった。」「関わりに余裕が持て明るくなった。」などの効果があります。

私たちスタッフは今後もご家族様のお力になれるように努めていきたいと思います。

「あいの会」についてご興味のある方はぜひ一度お問合せ下さい。

問い合わせ先は八代更生病院デイケアまで。



第56回熊本県精神保健福祉大会に参加して

平成30年10月12日 3病棟 境 正信

くまもと森都心プラザ(5階プラザホール)で、第56回熊本県精神保健福祉大会が開催されました。この大会は、偏見がなく安心して暮らせる行政社会の地域づくりのために、毎年開催されています。

また、この大会では精神保健福祉事業功労者表彰(熊本県知事表彰)をはじめとして、精神保健福祉功労者表彰(熊本県精神保健福祉協会長表彰)、優良勤労障がい者表彰(熊本県精神科協同組合理事長表彰)等も行われ、県内各地から多くの方が参加されました。その中の精神保健福祉功労者として、当院の川浪 利恵子(栄養科)、福島 文利(管財)、宮川 博行(PSW)、宜保 秀美(PSW)、上野 光春(看護師)、境 正信(看護師)が表彰を受けました。

さらに、今回は熊本県精神保健福祉協会のシンボルマーク発表がありました。楕円形を2つ重ね合わせハート型にも見える、心が温まるようなシンボルマークでした。

その後、下地 明友氏(医学博士 元熊本学園大学教授)による「物語としての病い」についての講演会も開催されました。1つの症状にも色々な物語(過程)があり、その1つ1つの何気ないケアにも深い意味があることや治療文化、介護文化等、とても奥深い内容でした。

長年、地域での精神科医療に携わってきて、今まで培ってきた知識と経験を踏まえ、さらに新たな知識を習得し、自己研鑽しながら精神科医療に貢献していきたいと思います。



平成30年度熊本アルコール関連問題学会 病院から地域へ～作業を介した本人の「語り」から 地域断酒会へ繋がった事例～

今回、同上の演題名で発表を行いました。発表を通じ、今後はより他医療スタッフとの連携を強化し、患者様を地域断酒会へ紹介・同行していく体制作りを行っていく必要性を感じました。

発表後の講演にも参加し、熊本県アルコール

平成30年11月10日 濱田 拓哉
健康障害対策推進計画が完成目前と話がありました。県の推進計画では特にSBIRTSの取り組みに力を入れると報告があり、各地区でユニットを組んで取り組む草案が話されました。今後も国や県全体としての取り組みに沿った医療を提供できるよう精進していきます。

職場体験記

平成30年7月4日・5日 松本 梢希、水田 香織、濱本 竜輝

私達は、今回八代第三中学校の職場体験に関して講義を担当する事になりました。

今迄、講師としての経験がなく、どの様に進めていくか悩みました。ただ、学生が進路を決める際に少しでも参考になればと思い取り組みました。

今回は看護師の仕事の中で基本的な「バイタルサイン測定」「食事介助」「コミュニケーションの技術」「車イスにおける移乗、移送、車イス体験」について講義しました。

その中でも、食事介助における注意点や、車椅子移乗時のボディメカニクスを活かした身体

の使い方、コミュニケーション方法等、普段私たちが仕事をする上で意識して行う必要がある部分も多く、自分たちの振り返り、意識付けにもなりました。

また、血圧測定や食事介助、車椅子移乗等実際に体験を多く取り入れました。体験の中でも笑顔で取り組む姿も多々みられ、看護師という職業について少しでも興味を持ってもらえたのではないかと思います。

今回の体験は、自分自身を見つめ直す良い機会にもなりました。今後も、より知識・技術を深めていかなければと思いました。

フォトギャラリー



- 今回は「秋を感じる風景」をテーマに職員に作品を募りました。表紙の写真をはじめ素晴らしい作品が集まりましたのでこちらで紹介します。



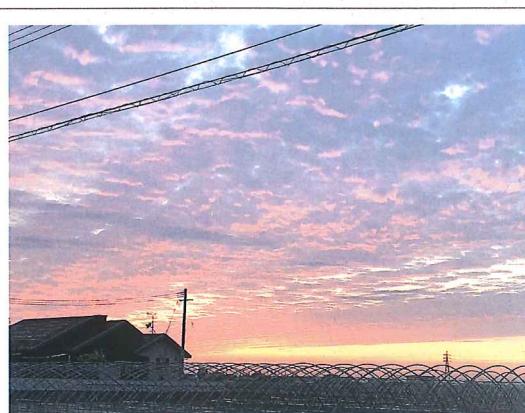
御輿来海岸の夕日



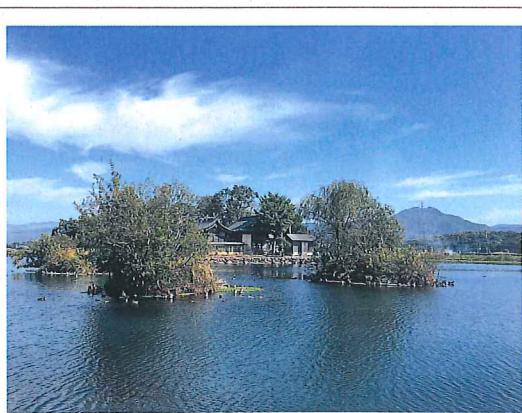
塩屋八幡宮で獅子舞



塚原古墳のコスモス



八代市内夕暮れ



浮島神社

外来診療 ご案内

※精神科医が
担当します。

		月	火	水	木	金	土
午前	新来	○	○	○	○	○	
	再来	○	○	○	○	○	○
午後	予約外来					休診	

診療 科目

精神科、心療内科、内科

受付 時間

新来▶午前 8:30~11:30(月~金)

再来▶午前 8:30~12:00(月~土)

午後13:30~16:00(月~金)

新来は予約制で月~金曜日の午前中のみとなります。

交通の ご案内



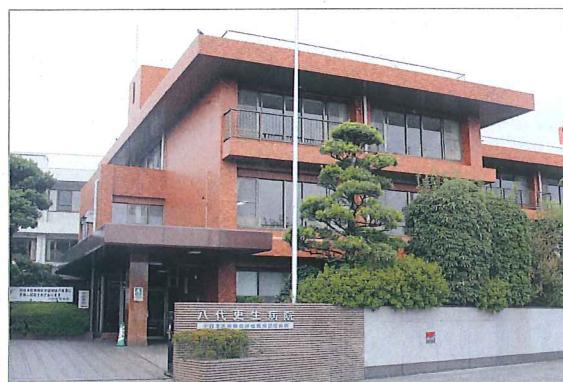
- JR八代駅から……………車で15分
- バスでお越しの際は八代駅方面から
産交バス植柳経由→「南平和町」行き、
又は植柳経由→「君ヶ瀬」「破木」「坂本駅」行きに
お乗りください
- 産交バス「千反町」バス停より徒歩3分
- ゆめバス「迎町交差点」バス停より徒歩3分

スタッフ募集

現在、医師、薬剤師、看護師、
准看護師、調理師、調理補助、
看護補助を募集しています。

委細面談

連絡は、事務長 嶋田まで、ご連絡ください。



医療法人山田会
八代更生病院

〒866-0043 八代市古城町1705

TEL(0965)33-4205

FAX(0965)35-8275

URL <http://www.y-kousei.jp/>

mail info@y-kousei.jp